

第1684回報告

景信山～高尾山

実施日 4月2日(木) 晴れ 係 飯島和子 記録 湯浅克枝

報告 バスを終点の小仏で下車。ロープのある登山口より登り始める。陽当りの良い処にはすみれや可愛い草花が次々と現れ、楽しませてくれた。途中、急登もあったが、ゆっくり登って頂上へ。富士山が大きな顔で迎えてくれた。目的の桜には少し早かったが、下山した高尾駅前では満開の桜が待っていました。花の名前を覚えながら楽しい山行でした。

コース 高尾駅北口 9:12＝バス＝9:37 小仏 9:50…登山口 10:00…景信山 10:50…12:00
タイム 小仏峠 12:50…城山山頂 13:20…13:39 高尾山 13:54…高尾山口駅 15:32＝高尾
15:34＝八王子 15:48＝横浜

参加者 13名

第1685回報告 (本部合同) 関東ふれあいの道

実施日 4月4日(土) 晴れ 係・記録 柴野善治

報告 心配した天気も良く穏やかなノンビリ山歩きを満喫してきました。

コース 蓑毛バス停 8:25～35…蓑毛越え 9:30～9:45…大山阿夫利神社 10:15～50…見晴台
タイム 11:25～12:25…九十九曲がりコース林道合流点 13:15～30…日向ふれあい学習センター
13:35…日向薬師 14:25～45…日向薬師バス停 15:00(解散)

参加者 17名

第1687回報告 奥武蔵「巾着田」 (本部集中)

実施日 4月12日(日) 曇りのち晴れ 係り・記録 芹沢

報告 年に一度の新ハイのお祭り、乗車予定の湘南新宿ラインが事故で運休、出発地の飯能駅を20分遅れで出発。桜祭りの余韻の残る街中を抜け、能任寺にたどり着く。ミツバツツジの鮮やかなピンクを堪能しながら直下の岩場を登ると天覧山の展望台。春霞のなか飯能の町が一望。雨乞い池を経由して、着いた多峰主山頂は他支部とおぼしきグループで超満員、中休止のあと、高麗駅を経て予定通り巾着田に12時半に到着。高麗川の川原の会場で始まった本部、支部紹介2分の制約の中、全員参加で、支部のモットーであるS.H.C. プラスEと服部さんアイデアの紙ヒコーキが見事に一致し、パフォーマンス賞をゲット。これも皆さんの協力の賜物と感謝、写真を撮って貰った本部参加の大池さんにも感謝、それにしても浦和支部さん本当にご苦労様でした。

コース 飯能 9:50…10:25 天覧山 10:35…11:10 多峰主山 11:25…12:30 巾着田 15:30

…15:50 高麗駅（解散） 16:10

参加者 21名

下記は写真無し

第1690回報告 表妙義 (850m) ・ 物語山 (1019m)

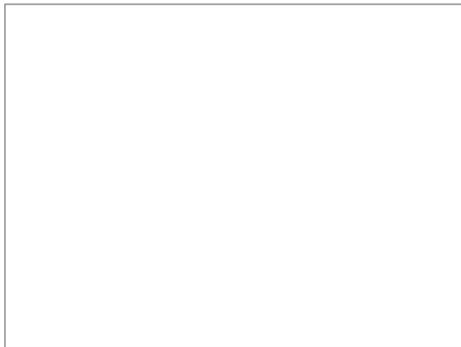
実施日 4月22日（水）～23日（木）天候：22、23日快晴 係・記録 竹尾亮三

報告

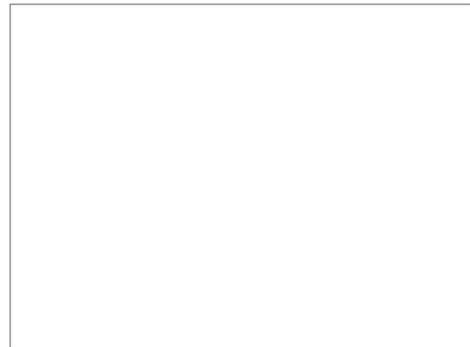
22日 ミヤマオダマキが咲く妙義神社より歩き始めると、岩峰 白雲山が、次に金洞山が目飛び込んでくる。美しい新緑越しに妙義山や周囲の展望がすばらしい。第四石門手前で左折し、予定していなかった大砲岩へ向かうと、しっかりとした鎖が付いた岩場を上下し、最後に垂直に近い岩場を鎖の力を借りて、三点確保で慎重に登りきる。蛸足三脚持参の0嬢のおかげで全員が写真に納まる。中間道に戻り、第四石門や次の見晴台から我々の足跡を振り返る。

さくらの里のソメイヨシノは散っていたが、中央園地まで下ると色々な種類の八重桜がツツジと共に花見をさせてくれる。

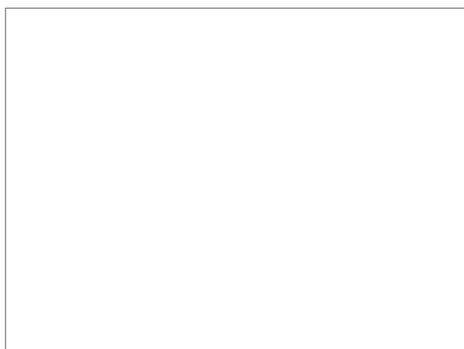
23日 満足感の旅館を後に、バスで出発。歩き始めた林道沿いの小川のせせらぎ、陽に輝くヤマブキの金色を楽しむ。時折、塔のようなメンベ岩が見える。急登をジグザグに登り稜線のコルに出る。期待のアカヤシオが左右に見える。ここから山頂までの急登の山道沿いには見頃のアカヤシオが続く。アカヤシオに囲まれた黄色のヒカゲツツジを見つけた時の感嘆の声が響く。山頂より表妙義、裏妙義、荒船山、残雪の浅間山がアカヤシオや芽吹きと新緑の間から素晴らしい眺望である。コルより登り返し西峰へ。ここからのアカヤシオ、展望も申し分なし。



大砲岩



さくらの里から妙義山



物語山から裏妙義

コース 22日 松井田駅 9:40=taxi=妙義神社 9:50---あづまや 12:05~12:45---第四石門
タイム 14:15---さくらの里 15:20~16:10=taxi=下仁田駅近く 旅館 16:35
23日 下仁田駅 8:30=バス=サンスポーツ前 8:51---物語山 11:15---西峰 11:40---
(途中、昼食 35分) ---サンスポーツランド前 13:35-ドライブイン 13:40
~14:10=taxi=下仁田駅 14:30~14:48=高崎=横浜 18:31

参加者 5名 [地図](#)

第1691回報告 富士見のみち・生藤山

実施日 4月26日(日) 晴れ 係 春日井孝行 記録 渡部道明

報告 25日が雨の予報により早めに順延(26日)のメールがあり大正解、当日は見通しよい好天気恵まれた。登山口より浅間峠まで一本調子の登り、あと熊倉山まで50m~100m前後の登り返しが7峰ほど、身近な道志の山々、丹沢、さらに富士山 片や遠くに新宿のビル群など右、左に おおいに疲れを癒す。下りは醍醐丸、和田峠と峰道をたどり陣場高原下迄 総距離14km程の快適な山道であった。目に優しい新緑、未だ頼りなげな山桜、足もとのざぜんそう、いかりそう等も楽しめた。

コースタイム

武蔵五日市駅 9:05=バス=9:40 上川乗 9:55...10:10 登山口...11:20 浅間峠 11:40
...12:30 熊倉山(昼食) 13:10...13:30 三国山...13:37 生藤山...15:20 醍醐丸 15:35
...16:10 和田峠 16:40...17:25 陣馬高原下 17:40=バス=18:15 高尾駅

参加者 8名

第1692回報告 街道を歩く(中山道その7)

実施日 4月26日(日) 曇り/雨/晴れ 係 芹沢 隆久 記録 和智 邦久

報告 新町宿——高崎 (11.9km)

新町駅からスタート。歩き始めは曇り、雨が降りそうな天気。10分ぐらい歩いたところでバケツをひっくりかえしたような雨が、小降りになるまで軒下

で雨宿り。小雨になったので歩き出す、すぐに青空のいい天気になるが、風が強く吹き出した。八坂神社へ（芭蕉句碑がある「傘におしわけ見たる柳かな」）弁天橋からは静かな旧道がつづく。鳥川（利根川の支流）の土手の上は、向かい風が強い。柳瀬橋を渡り、柳瀬の渡し場跡付近で休憩。

岩鼻陣屋跡（上野、下野、武蔵の幕府直轄地 50 万石を管理した代官所の跡）による。日光街道と中山道との追分は、大きな常夜灯と、その後ろに阿弥陀堂がある。常夜灯の柱石に、左日光街道、右中山道と彫ってある。倉賀野宿跡、本陣跡を通過し倉賀野神社で昼食。

浅間山古墳、愛宕神社、高崎城址（松平右京亮、8 万 2 千石）は、石垣がわずかに残るだけ。日本橋からついに 100km を超えた。

今日の終着高崎駅に、雨、強い風の中全員元気で全員到着する。

（日本橋から高崎駅までの距離 107.6km）

コース 新町駅 8:40・・・9:12 八坂神社・・・10:25 柳瀬橋・・・10:30 柳瀬の渡し場跡
タイム ……11:00 岩鼻陣屋跡・・・11:37 常夜灯・・・11:55 倉賀野宿・・・12:00
本陣跡の碑・・・12:04 倉賀野神社（昼食） 13:00・・・13:15 浅間山古墳・・・
14:22 愛宕神社・・・14:45 高崎城址・・・15:00 高崎駅

参加者 12 名
詳細

第 1694 回報告 丸 岳 (1156m)

実施日 5 月 1 日 (金) 係 谷 眞理子 記録 谷田部 松枝

報告 さわやかな風が吹き、目に優しい芽吹き薄緑色の尾根歩きと富士山、芦ノ湖の展望を十分に堪能した一日でした。参加された皆様お疲れ様でした。

コース 小田原駅＝バス＝仙石バス亭 9:35... 乙女口 10:05... 乙女峠 10:50
... 丸岳山頂下 (昼食) 12:20... 長尾峠 13:00... 富士見公園 13:20
... 芦ノ湖展望公園 14:20... 早川口 14:45... 桃源台バス亭 15:15 解散

参加者 9 名

第 1696 回報告 川苔山

実施日 5 月 9 日 (土) 快晴 係 春日井孝行 記録 服部八重子

報告 前日の雨が嘘のような天下晴れです。深い川乗谷の新緑が眩しい。薄紫の桐の花やクワガタ草、苔むした岩が素敵。気持ちのよい流れの橋、岩を抱きたどり着くど何度も渡り返す。百尋ノ滝は音、水量共に、圧巻！水しぶきを浴びた女性はしっとり、益々いい女になりました。頂上から雲取山、蕎麦粒山、奥多摩の山脈が、すばらしい。長い杉林の下りも退屈しない。昨日、都心に大きな虹の橋が出ました。見た？何時ごろ？にじ・ジョーク合戦も楽しい山行でした。

コース 立川駅 7:53==9:15 奥多摩駅 9:33=バス=9:50 川乗橋---10:55 細倉橋---
12:00 百尋ノ滝 (昼食) 12:40---14:30 川苔山 14:50---15:00 分岐---17:10
大根の山ノ神---17:45 鳩ノ巣駅

参加者 16名

第1699回報告 秘湯めぐり・ハイク 上の原高原と湯の小屋温泉

実施日 5月20日(水)~21日(木) 晴れ 係 澤野正明 記録:板垣恵美子

報告 天気予報では曇りのち雨の予定でしたが、晴れ女2名のお陰で好天に恵まれ、大量の山菜摘み(わらび、うど等)と春リンドウ等のお花見を楽しみました。

(20日) 裏見の滝見物、裏からの見物は出来ず、表見の見物となる。のち湯の小屋温泉、葉留日野山荘到着後、山荘の人に車で奈良俣ダムに連れて行って戴きました、ダムから、笠ヶ岳、至仏山が良く見えました。

(21日) 諏訪神社登山口から雨呼山ハイク、上の原入合の森で昼食及び山菜採り、及びお昼寝タイム、新緑をいっぱい浴びながら、のんびりとしたひと時を過ごしました。

コースタイム

20日:省略

21日:温泉 8:25=送迎車=諏訪神社登山口 8:40...政五郎山 9:05...風神岩(雨呼山)
9:20...寺山峠駐車場 10:05...上の原入合の森 11:15(昼食休憩) ==
入合の森出発 13:40==水上駅到着 15:45

参加者 6名

第1701回報告 万次郎(1300m) ~ 万三郎(1406m)

実施日 5月24日(日) 曇り一時雨 係 三浦昌之 記録 三浦良三

報告 ゴルフ場行きバス内は全員ハイカーだった。ゴルフ場横(標高1000m)から歩き始め、万二郎から万三郎へ行く途中で降った30分間ほどの中降りの雨も頂上到達前にはあがり、後半は爽やかなハイクとなった。目当てのシャクナゲは万三郎に近づくにつれて数を増し、白ピンクの花が目を楽しませてくれた。他に新緑の馬酔木、苔むした山斜面、茶色の姫沙羅の樹肌が雨上がりに映え印象に残った。万三郎からは予定した天城峠コースをシャクナゲコース(天城山北側)に変更しゴルフ場に戻った。駅の近くの温泉銭湯で汗を流し、食堂で金目鯛を賞味し帰路についた。

コースタイム

伊東駅 8:00== (シャトルバス) ==8:55 天城高原ゴルフ場 9:10...
万二郎岳登山口...10:15 万二郎岳 10:25...11:45 万三郎岳 (昼食) 12:15
...酒沢分岐...14:45 天城高原ゴルフ場 15:30== (シャトルバス) ==
16:25 伊東駅

参加者 4名

第1702回報告

逗子～北鎌倉

実施日 5月26日(火) 晴れ 係 谷 真理子 記録 石井純一

報告 ハイランドより衣張山往復後、ひそやかな佇まいの巡礼古道へ。天園コースは覚園寺手前から上がり、明月谷へ下った。晴天ながら霞んでいて、伊豆、箱根、富士の眺望は得られなかったが、柔らかい日差し、そよ風、鳥の囀りに包まれた爽やかな一日でした。

コース 逗子駅 9:35・・・法性寺 10:00・・・衣張山 11:30～12:10・・・(巡礼古道)・・・
タイム 報国寺 12:50・・・鎌倉宮 13:20・・・(天園ハイキングコース)・・・北鎌倉駅 15:00

参加者 9名

第1703回報告

一ノ倉岳 (1974 m)

実施日 6月1日(月)～2日(火) 係 飯島和子 記録 竹尾亮三

報告

[1日] 谷川岳、白毛門の山々を見ながらしばらく登ると、イワウチワ、ムラサキヤシオなど、色々な花が目を楽しませてくれる。熊穴沢避難小屋を過ぎ、ロープの有る岩場を含めた急登が続き、展望の良い天狗の溜まり場に到着。稜線がのびやかで美しい。シャクナゲが所々に咲く笹の草原を通り高度を上げてゆくと最後は雪田である。アイゼン無しで登り終わると肩の小屋である。建替えられた綺麗な小屋に荷物を置き、ミネザクラ越しに稜線が続くオジカ沢ノ頭に向かって下るとハクサンイチゲの花や蕾がたくさん迎えてくれる。その中にハクサンコザクラが咲いているのが愛らしい。同宿者は1人のみでした。

[2日] 小屋から登ると、直ぐ谷川岳の双耳峰の一つトマノ耳に着く。平標山、苗場山、燧ヶ岳などすばらしい展望である。もう一つのピークであるオキノ耳まで、鎖場は慎重に通過しシラネアオイなどの花も相変わらず。途中のノゾキで恐る恐る一ノ倉沢を見下ろし、急坂を登り返せば一ノ倉岳である。時間の余裕で、茂倉岳まで足を延ばす。下ると、直ぐ雪田で、上り返すと茂倉岳である。肩の小屋、谷川岳の双耳峰、一ノ倉岳と今日のコースの稜線が一望である。往路を戻り小屋に到着、昼食後、再び花を楽しみながら天神平に帰還する。雪田を残す山々の展望、高山植物の花々など、強く記憶に残る山行でした。





茂倉岳より一ノ倉岳へ

コース [1日] 天神平駅 11:20--穴熊沢避難小屋 12:25~12:35--天狗の留り場 13:15~
タイム 13:50--肩の小屋 14:35(泊)
 [2日] 肩の小屋 7:00--トマノ耳 7:10~7:20--オキノ耳 7:40~7:50--一ノ倉岳
 8:25~8:40--茂倉山 9:10~9:25--肩の小屋 11:15~12:05--天神平駅
 13:40=土合口駅=水上駅=横浜 18:37

参加者 6名

第1704回報告 御正体山 (1681.6 m) ~石割山 (1413 m)

実施日 6月1日(月) 曇りのち大雨 **係** 渡部 道明 **記録** 谷 真理子

報告 タクシーにて白井平より入る。ヒノキ、スギの植林地の中を歩き、やがて沢を二回渡る。ブナ、コナラ、モミジの混成林の中のしっかりした尾根道にのる。急坂の連続でなかなか手強い山と実感する。頂上は1等三角点、少祠と案内板とベンチのみの広い平地、マコゼンノ丸といわれている。

下山は山伏峠あたりで雷雨の為、石割山はあきらめ山伏峠を目指す。下山路はまたたく間に水路と化す。大きくえぐれた滑りやすい山道を慎重に歩き通し、山伏峠で雨は止み、夏の日差しを浴び国道を石割の湯へと歩く。さっぱりした後、解散となり、駿河小山駅へと向かう。

コース 駿河小山駅=タクシー=白井平(御正橋) 8:15...林道終点 8:24...道坂峠分岐 9:47
タイム ...御正体山頂 11:00...前の岳 12:15...中の岳 12:40...山伏峠分岐 13:20...山伏峠 14:30
 ...石割温泉 15:30=タクシー=駿河小山駅 17:50

参加者 10名

第1705回報告 秘湯巡り・ハイク鬼面山と鷺倉温泉

実施日 6月4日(木)~5日(金) **係** 澤野正明 **記録** 佐藤哲夫

報告

1日目 曇り空の下 タケノコ狩りを楽しみながら鬼面山

2日目 ガスに巻かれそれぞれ登頂した。タケノコ狩りは計画通りたっぷり時間

を掛け笹藪の奥まで深く分け入り、十分な収穫を挙げて満足。
東吾妻は歩行に思わぬ時間を費やし20分早くなったバス発車時間に無事に合った。

コース 4日 新野地温泉 10:23---旧土湯峠---鬼面山---旧土湯峠---新野地温泉---
タイム 驚倉温泉 15:30 (タケノコ狩り三箇所計2時間 休憩40分含む)
5日 浄土平 11:00---酸ヶ平 11:50---鎌沼---姥ヶ原 12:15 昼食 12:45---
東吾妻山 13:45---姥ヶ原 14:35---浄土平 15:40

参加者 10名

第1709回報告 刈込湖 (1617m) ・ 高山 (1666m) ～千手ヶ浜

実施日 6月18日(木)～20日(土)

係・記録 竹尾亮三

報告 18日 曇一時霧雨

昼食時に降っていた雨もおおるり山荘に着く頃には止み、湯元源泉地より整備された山道を登り始める。巨岩が横たわる小峠には休憩用ベンチが待っている。ここからダケカンバが目立つ緩やかな下りと、数箇所の急斜面を木製の階段で下ると、刈込湖の砂浜に到着。周囲は山々に囲まれ、静寂に包まれている。連結する切込湖の方向を眺め、往路を戻る。おおるり山荘専用の2つの源泉を確認し、白樺とレンゲツツジの花が待つ山荘に戻る。

19日 快晴

竜頭滝上の登山口より山道を登る。自然林からこぼれる陽、エゾハルゼミの声が続き、花を地面に残したシロヤシオ群の間を登りきると高山である。頂上は広くダケカンバや広葉樹が美しい。千手ヶ浜への急坂を問題なく通過し、中禅寺湖の砂浜に到着。湖畔の道を経由し、千手ヶ浜の草加市自然の家の敷地に入ると、赤紫のクリンソウの大群生に驚く。黒い蝶が舞い、白樺の丸太に座って昼食である。舗装道路と別れ、西ノ湖に向かうとカラマツ林の中、真直ぐに続く道の景色はすばらしい。西ノ湖より、千手の森歩道を緩やかに下る。この自然林のすばらしさにも感動である。湖畔に着き、民家のクリンソウの大群生地に着くと紅白のクリンソウ群、小川に映るクリンソウ群など再び感激する。奥日光の自然を堪能した1日でした。

20日 快晴のち曇

朝5時30分に山荘を出て、湯ノ湖一周と、湯滝見物に出かける。レンゲツツジと周囲の森が湖面に映っている。半周したところで湯滝の上、下から見事な水量と幅を持つ湯滝を鑑賞して再び湖畔まで戻り、残りの半周を歩く。ビジターセンター前にはハマナスの花がさいている。朝食後、帰路は三本松の戦場ヶ原展望台からの男体山と、世界遺産輪王寺見学のおまけ付である。計画通りのコースを歩き、色々楽しんだ3日間でした。紅葉の時期に再び訪問したい奥日光です。

コース 18日 横浜駅西口 8:10＝バス＝おおるり山荘 13:15～13:40--小峠 14:30
～14:40--切込湖--湯元源泉地 16:50--おおるり山荘 17:00

タイム 19日 湖畔前 7:27＝バス＝滝上 7:38～7:50--高山 9:20～9:45--10:55～11:00
--千手ヶ浜バス停 11:20～11:30--自然の家 11:40～12:30--西ノ湖 13:00

～13:15--クリンソウ群生地 14:05～14:25--千手ヶ浜バス停 14:35～15:20
==赤沼車庫 15:50--赤沼バス停 16:19=バス=湖畔前 16:39--山荘 16:42
20日 山荘 5:30--湯滝 6:05～6:15--山荘 6:55～9:45=バス=三本松=
横浜 15:35

参加者 14名

第1710回報告

浅草岳・守門岳

実施日 6月29日(月)晴～30日(火)雨のち晴

係・記録 春日井 孝行

報告 29日

浅草岳／皆さんのお目当てヒメサユリ⇒群生地にはもちろん、登山道脇にも咲いており誰もが大喜び。雪田のトラバースは慎重に歩く。

山頂からの眺め良し・目の下に田子倉湖、鬼ヶ面山、越後三山、守門岳。

30日

守門岳／雨の朝だったので、山頂を目指すことは止める。希望者7名だけ布引ノ滝を見に行く。対岸から眺める滝で、何段かの内最下段だけでも100m以上あろう大きな滝で感激。やがて雨も上がり、眺望の利く所まで登る。守門の全容、後ろの越後駒を見て下山する。

コース 29日 ネズモチ平 10:20…前岳 12:45…浅草岳 13:15／13:50…カヘヨノボッチ 14:40…ネズモチ平 16:40

30日 大原登山口 8:00...(布引ノ滝往復1時間／エデン往復2時間)…大原登山口 11:00(12時までワラビ採りをする)

参加者 11名

第1712回報告

霧降高原～丸山 (1689m) ～大山 (1158m)

実施日 7月12日(日)曇一時晴、一時小雨～30日(木)曇り

係・記録 竹尾亮三

報告

霧降高原のリフトに乗ると山の斜面全体が見頃のニッコウキスゲで広がっている。リフトを降り、山道を登ると丸山である。日光市街地、赤薙山や夕日岳などの山並みが美しい。一面が笹の野原を經由して大山入口に到着し昼食。カラマツが並ぶ山道を下り、陽がこぼれる中、大山へ向かう。明るい牧草地を登ると山頂である。牛が放牧されている。何度も柵越えの鉄階段を上下し、牧草地の中を下り、川底が茶色い玉簾ノ滝の展望台に到着。不安定な丸太橋を慎重に渡り、ひと登りし、霧降の滝入口に到着。霧降ノ滝も静かな中で素晴らしい眺望。梅雨時期にお天気に恵まれ、変化の有るコースを楽しみました。

コース 東武日光駅 9:31=霧降高原 9:55=リフト3台乗継=小丸山 10:40～10:50?丸山
タイム 11:15～11:25--高原ハウス 12:30～13:15--大山 14:35～14:50--猫ノ平 15:35
～15:45--玉簾ノ滝 16:25～16:30--霧降ノ滝入口 17:15～17:20--霧降ノ滝乗
観瀑台 17:25～17:30--霧降ノ滝入口 17:35=taxi=東武日光駅 17:45～18:10

参加者 11名



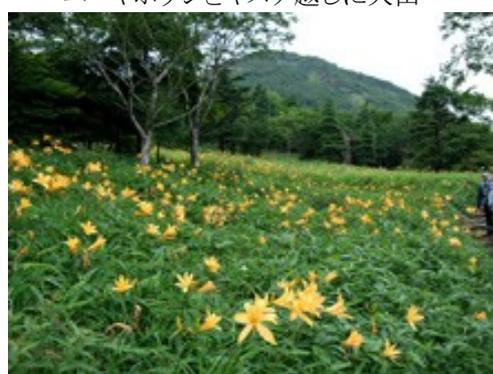
霧降ノ滝



コバギボウシとキスゲ越しに大山



ニッコウキスゲ



霧降高原ニッコウキスゲ群と丸山

第1713回報告

アサヨ峰

実施日 7月29日(水)曇／小雨～30日(木)曇り 係 春日井 孝行 記録 和智邦久

報告

- 29日 北沢峠に着いた時は、薄日が射していた。仙水小屋に荷物を置き仙水峠へ。峠は風が強いものの、魔利支天が見えた。
- 30日 早朝出発。北沢峠から今日も魔利支天が【見えた。栗沢山への直登を登っていると駒津峰の付近に珍しいダブル虹(虹の後ろに虹)が、栗沢山の頂上からはガスで展望なかったなので、アサヨ峰へは行かず下山することにした。少し下ったところにシクナゲの群落が、写真を撮っていると、シクナゲの間からライチョウが2羽、私たちも撮ってと現れた。今回の山行は雨に降られてもよい予報でしたが、雨らしい雨はなく思い出に残る山行でした。

コース 29日 甲府駅 10:00＝バス＝11:56 広河原 12:20＝12:45 北沢峠 12:55…13:45
仙水小屋 14:10…14:34 仙水峠 15:10…15:50 仙水小屋

30日 仙水小屋 4:50…5:25 仙水峠 5:35…7:08 栗沢山 7:25…9:45 栗沢山登山口 10:23…
10:33 北沢峠 12:55＝13:25 広河原 13:30＝15:27 甲府駅

参加者 3名

第 1717 回報告

乾徳山 (2031m)

実施日 8月22日(土) 晴

係・記録 竹尾亮三

報告 道標に従い、大平牧場の跡地から山道を登って行く。何度か林道と交差し、国師ヶ原に出る。山道沿いにマルバダケブキが目立つ。草原が現れ、月見岩を過ぎると扇平である。昼食を軽く済ませ、幾つかの岩場を過ぎ、鎖のある本格的な岩場に到着する。足、手がかりがあるので三点支持で注意深く通過。いよいよ山頂直下の岩場に到着。鎖を使わなければ登れない。最初の5mくらいが難しいが、新人も含め無事山頂を踏む。緊張が解けた笑顔で記念撮影。復路は鎖場の巻き道を下り、国師ヶ原を経て、錦晶水でのどを潤し、銀晶水を経てtaxiの待つ林道に到着する。久しぶりに、少し緊張する岩場のある山行でした。

コース 塩山駅 8:55 taxi=大平高原登山口 9:20~30--国師ヶ原 10:45--扇平 11:30~
タイム 12:10--乾徳山 13:40~14:05--扇平 15:35--国師ヶ原 15:50--乾徳山登山口
17:15--神社鳥居 17:35~45 taxi=塩山駅 18:10~27=八王子

参加者 10名



扇平とススキ



山頂直下の鎖場



コヒョウモン蝶とマルバダケブキ



カラナデヒコ

第 1719 回報告

街道を歩く (その9)

実施日 8月29日(土)~30日(日)

係 芹沢 隆久

記録 和智 邦久

報告

29日 晴れ/曇り 安中宿—坂本宿

(18.5 km)

2日間歩くのは初めてである。初日は安中駅から長い街道歩きがスタート。久芳橋を渡り安中宿へ、ここで武家長屋を見学。大木戸跡、一里塚跡、明治天皇御小休跡、地藏堂を通過し、ただもくもくと歩く。日枝神社で昼食。

妙義常夜燈（妙義山への追分文化5年（1808）建立の常夜燈）を過ぎ、松井田宿に入る。五料の茶屋本陣跡（信越線の向こう側に見える白壁の建物）が、少し歩くと「夜泣地藏・茶釜石」（二体の内、右の大きな地藏、馬方が荷の平均を取るために地藏の首を利用し、深谷で用が済むと路傍に捨ててしまった、夜毎「五料恋しや」と泣く為里人がここに届けた。「茶釜石」を叩けば金属音がする）を過ぎ、横川駅の前を通過すると、右側に碓氷関所跡の門が残っている。薬師坂から坂本宿までだらだら上っていく。坂本宿に入ると各々の家に屋号の看板がかかっている。旅籠時代の屋号がそのまま残って、昔を偲んでいる。

今日は1日長い距離を歩き、皆ないささかばて気味であった。ここで霧積温泉の車の迎えがあり、疲れを温泉で癒した。

（日本橋から坂本宿までの距離 136.6km）

30日 曇り 坂本宿——沓掛宿 (16.6 km)

疲れを温泉で癒し、坂本宿を出発。昨日は、街道を歩きだったが、一変して今日は難所の山道を歩く。ヒルがいることを宿の人に聞いていたので、気を付けて歩いていたが、何人かがヒルに刺されてしまった。難所を越え峠に到着した。ここからは一気に軽井沢まで下り道がつづく。軽井沢は、日曜日とあって原宿みたいな賑わいの中をリックを背負った中年の一行が歩く様は、場違いの中を歩いているようであった。今日の目的地沓掛宿（中軽井沢）に到着した。1日目は街道をもくもくと歩き、2日目は難所の山道をヒルと闘いながら歩く。

中山道の難所の1つを通過し長野県に入った。

（日本橋から沓掛宿までの距離 153.2 km）

コース 8/29 安中駅 9:30…10:00 安中本陣跡…10:07 武家長屋…10:30 大木戸
タイム 跡…10:57 一里塚跡…11:10 明治天皇御小休跡…12:00 日枝神社
12:30…12:50 妙義道常夜燈…13:25 松井田宿…14:20 五料の茶屋
本陣跡…14:40 夜泣地藏・茶釜石…15:45 横川駅…15:55 碓氷関所跡
…16:18 坂本宿…16:30 上木戸跡==17:15 霧積温泉
8/30 坂本宿 8:35…8:40 旧道入口…9:15 芻石坂…10:20 座頭ころがし…
10:30 栗ヶ原…11:05 山中茶屋跡…12:40 碓氷峠 13:15…14:25 軽井沢宿
…15:35 中軽井沢駅（沓掛宿）

参加者 13名

第1721回報告 (本部合同) 明神ヶ岳 (1169m) 明星ヶ岳 (923m)

実施日 9月5日(土)晴れ

係 渡部道明 記録 和智邦久

報告 道了尊によってから登りはじめる。樹林帯の中を登り明神岳見晴小屋で相模湾方面の展望が開ける。樹林帯を抜けると強い日差しが照りつけ神明水で冷たい水を補給、また樹林帯の中を登り明神ヶ岳に。あいにく富士山は雲がかかり全体の雄姿を眺めることができないが箱根の山々の眺めを堪能。

明星ヶ岳までは尾根道を、下りは岩のごろごろした急な道を、途中大文字焼きが行われる場所を見ながら宮城野登山口到着。

大人数なのに皆様の協力で楽しい山行ができました。

コース 道了尊 9:20---明神岳見晴小屋 10:30---神明水 11:00---分岐 12:20
タイム ---12:37 明神ヶ岳 13:15---13:55宮城野分岐 14:05-- 明星ヶ岳 14:50
--- 宮城野登山口 16:05

参加者 25名(本部4名)

第1722回報告 御前山 (1405m)

実施日 9月13日(日)快晴

係・記録 竹尾亮三

報告 バス停から橋を渡り、道標に従って登山道に入る。杉、桧の植林帯を登ると、たくさんのツリフネソウが迎えてくれる。しばらくすると広葉樹に変わり、さらに登ると巨岩が見えてくる。

名称標識が無いが仏岩ノ頭であろう。湯久保尾根を登るにつれ、見頃の花をたくさん付けたホトトギスが現れ、木の間越しに、雲ひとつ無い富士山が見え隠れする。途中昼食を済ませ、御前山山頂に到着。木々が大きくなり葉が茂り展望は少し悪い。

雲取山が北西に望まれる。山頂から奥多摩湖への急坂は、一部ロープも使い、慎重に下る。途中で湖面が輝く美しい奥多摩湖を見下ろす。秋晴れの山行を楽しみました。

コース 武蔵五日市駅 9:00=taxi=宮ヶ谷戸 9:20~9:30--仏岩ノ頭 11:20--御前山
タイム 14:40~14:55--惣岳山 15:15--サス沢山 16:05--奥多摩湖バス停 17:40~18:05=
奥多摩駅 18:23~18:34=八王子

参加者 8名

第1724回報告 尾瀬燧ヶ岳

実施日 9月21日(月)~22日(火)

係 金本勲 記録 服部八重子

報告 21日 晴れ

峠を下ると一気に尾瀬の風景が現れる。絵のような3本カラマツ、右手に明日登る燧ヶ岳の双耳峰のシルエットが、どっしりと構えていた。宿は、尾瀬で最初の山小屋です。風情を楽しみました。

22日 曇りのち晴れ

御前橋があちこちに真赤な実をつけていた。ミノブチ岳付近から見た尾瀬沼は、霧が覆い日光連山を背に幻想的でした。熊沢田代の草紅葉は、オレンジ色に染まり、きんこう花の花穂が、沢山残っていた。健脚揃いで、時間があり、駅前で、入浴する。

コース 9/21 浅草 9:10==会津高原駅 12:20~12:30=14:25 沼山峠~14:45--長蔵小屋
16:10
タイム 9/22 長蔵小屋 5:10(長英新道)--9:05 俎嵩~9:15--紫安嵩 9:40~10:15--10:45
俎嵩~11:00--熊沢田代 12:10~12:30--広沢田代 13:00--尾瀬御池 14:15~
14:30=16:00 会津高原駅 17:08==20:55 浅草駅

参加者 8名

第1725回報告 街道を歩く (中山道その10)

実施日 9月26日(土)~27日(日) 係 芹沢隆久 記録 和智邦久

報告 9月26日(土) 沓掛宿~岩村田宿 (13.8km)

沓掛宿(中軽井沢駅)から1日目の岩村田宿までスタート。

少し戻って長倉神社(天長年間の創建境内には長谷川伸の戯曲「千両万両枉(ま)げない意地も人情搦めば弱くなる浅間三筋のけむりの下で男沓掛時次郎」の碑がある。)による。

土屋本陣跡、草津道分去れを過ぎ左の旧道に入る。少し行くとまた新道にぶつかり、軽井沢バイパスの下をくぐりた先を左折する。馬頭観音が沢山目につく、追分の一里塚を過ぎ追分宿郷土館を見学する。追分宿を過ぎ旧道に入り御影用水のつくろう橋付近で昼食。御代田の一里塚を過ぎ、小田井宿に入り宝珠院(境内に樹齢300年以上の赤松)、岩村田宿の龍雲寺(武田信玄の遺骨したと伝えられる霊廟がある。)により、岩村田宿に到着。

今日の街道歩きは旧道が多いので昔の石仏が沢山残っていた。
宿泊先は大名が宿泊したという、佐久ホテルに泊まる。

(日本橋から岩村田宿までの距離167km)

9月27日(日) 岩村田宿~芦田宿 (16.3km)

岩村田宿から2日目、心地良さの中をスタートする。

まずは西念寺(武田信玄が弘治元年(1555)の開基)による。相生町の信号を右折し県道154号線に入る。岩村田は信州味噌発祥の地といわれる。
相生松を過ぎ平塚の一里塚は探したが見つからなかった。のどかな旧道歩きが続く、周りは収穫まじかなりんご畑が目につく。

街道の右には浅間山の裾野が広がる、頂上は少し雲に隠れていてみることはできない。

塩名田宿に入り家の前には昔の屋号の看板が目をひく。千曲川を渡り少し歩くと24番目の八幡宿に入った。百沢橋を渡り左の旧道に入り、金山坂の手前で周りは水田が広がり
のどかな景色を眺めながら昼食。山道に入り瓜生峠を越え望月宿に入る。

望月宿を過ぎると長い上り坂がつづく。茂田井の一里塚を過ぎ今回の最後の芦田宿に到着。やっと旧中仙道を歩いている実感がわいてきた街道歩きだった。

(日本橋から芦田宿(26番目)までの距離183.3km)

コース 9/26 中軽井沢駅 8:40--草津道分去れ 9:19--追分の一里塚 10:27--10:31 追分宿郷土館
10:50

タイム --追分宿(油屋本陣跡) 11:09--11:42 御影用水(昼食) 12:15--御代田の一里塚
12:39--小田井本陣跡 13:11--龍雲寺 14:35--14:40 岩田宿(佐久ホテル)

9/27 岩田宿 8:23--西念寺 8:40--相生松 8:50--塩名田本陣跡 10:27--八幡本陣跡 11:29--
12:00 昼食 12:23--瓜生峠の一里塚 12:38--望月本陣跡 13:10--武重酒造 13:46--
14:35 芦田本陣跡==佐久平駅

参加者 10名

第1729回報告

大岳～横岳

実施日 10/10（土）～11（日）

係・記録 春日井 孝行

報告 10/10

青空に時折アラレが降る天気、雨に変わるのも心配だったし、雨池からの八柱山は時間的に苦しいこともあり割愛。双子池入口辺りはサルオガセが目につく。お目当ての黄金色のカラマツは、直前の台風でかなり散ってしまったとのことで満足度80%くらいか。

10/11

北八ッの魅力・暗い森と苔に加えて、明るい岩稜歩きがこのコースの楽しみ。大岳～北横岳～三ッ岳、眺望も良く素晴し。池巡りも楽し。（茶水池、雨池、双子池、亀甲池（俯瞰）、セツ池）

コースタイム

10/10 麦草峠 11:50...13:15 雨池 13:40...双子池ヒュッテ 15:15（泊）

10/11 双子池 6:15...大岳 9:00...10:45 北横岳 11:15...セツ池...13:20 三ッ岳 13:40...雨池峠 14:40...ロープウェイ駅 15:00

参加者 5名

第1730回報告

仙丈ヶ岳

実施日 10月11日（日）～12日（月） 天候 晴れ 係 金本勲 記録 依田ふみ

報告 10/11

登山口の北沢峠のバス停には無料の駐車場とトイレが併設されありがたい。北沢峠からバスで来た道を5分ほど行くと左に下る道がある。しばらく行くと大平山荘にでる。小屋の前を通り、仙丈ヶ岳の道標に従って樹林帯の道を登り始めると藪沢新道の登山道である沢沿いを直登する。

かなりの勾配になる。数日前に降ったのか所どころ雪が残っていて冷え込む。藪沢に注ぎ込む滝がしぶきでツララが出来ていた。ここから沢沿いを離れ、右の斜面を登ると馬ノ背ヒュッテに到着する。小屋の脇には水場があり、誰でも給水できる。

10/12

馬ノ背ヒュッテ朝6時発。ダケカンバの木が目立つ道を蛇行しながら登って行く。

10分ほどで馬ノ背に出る。丹溪新道が合流する地点ハイマツ帯に延びる階段状の道を登る。

左前方に仙丈小屋と山頂が見えてくる。振り返ると甲斐駒ヶ岳や、右には中央アルプスの

山並が見える。仙丈ヶ岳の山頂は思いのほか狭い。でも展望はまさに360度のパノラマ。

後続の人たちに山頂をゆずり稜線を進む。左下には仙丈小屋とカールが広がっている。

下る。急坂なので転倒しないように気をつける。五合目を過ぎると少しずつ勾配がゆるやかになり、三合目から平坦になり北沢峠に出る。

コース 10/11 八王子 8:01-9:07 甲府 10:00=バス=11:56 広河原 12:00=バス=12:45
タイム 北沢峠 13:00...やぶ沢大滝 14:09...14:35 丸木橋 14:45...やぶ沢小屋分岐
16:00...16:20 馬ノ背ヒュッテ (泊)

10/12 馬ノ背ヒュッテ 6:00...7:55 仙丈ガ岳 8:30...9:46 小仙丈ガ岳...12:10 北沢峠

参加者 7名

第1732回報告 瑞牆の森・瑞牆山

実施日 10月18日(日)快晴~19日(月)快晴 係・記録 竹尾亮三

報告
10/18

蕪崎駅から乗車したバスが途中、丘の上のハイジの村に到着すると、甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山、八ヶ岳などが絵葉書のように鮮やか。通仙峡の紅葉が見頃前という情報で、省略し、増富温泉街の外れでバスを降り、本谷川溪谷沿いを歩く。登るにつれて巨岩や紅葉が目立ち。市営のリーゼンヒュッテの前の東屋で、紅葉した木々や山々に囲まれ小春日和の中、昼食をとる。瑞牆山荘に荷物を置き、1時間で2002年の全国植樹祭が開催されたの瑞牆の森に到着。ここから見る瑞牆山の岩峰の全景が紅葉のコントラストで素晴らしい。レストハウスで全員がブルーベリーや巨峰のソフトクリームで大満足。

10/19

瑞牆山荘から、赤、黄、薄緑のコントラストが続く落葉樹林帯の山道を登って行く。天鳥川出合を過ぎ、急登が続く。まず、紅葉越しに金峰山の五丈岩が真っ青な空に飛び込んでくる。次いで富士山。こんなに均整が取れた富士山は見たことがない。そして根元から大ヤスリ岩を見上げて感嘆。所々にロープがある岩場を登り終わると10分で山頂である。展望は申し分なし。恐る恐る大ヤスリ岩を見下ろす。いつの間にか富士山の山頂より上に笠雲/レンズ雲の「はなれ雲」がかかっている。初めて見る笠雲である。予定時刻のバスに乗り、ラジウム含有量世界一の、増富の湯に入り、感動の山行でした。

コース 10/18 蕪崎駅 8:38==8:50 増富温泉街 9:47--60--リーゼンヒュッテ前バス停
タイム 11:00=バス=12:08 瑞牆山荘 12:18...12:40 瑞牆の森 13:30...14:10
瑞牆山荘 15:10(泊/入浴)

10/19 瑞牆山荘 6:15...富士見平小屋 7:05...天鳥川出合 7:50...8:00 瑞牆山 10:10
...10:40 天鳥川出合 12:20...12:50 富士見平小屋 13:25...13:30
瑞牆山荘バス停 14:00==14:20 増富の湯 14:40==15:50 蕪崎駅 16:44=
八王子駅 18:01

参加者 5名

第1733回報告 金峰山~甲武信ヶ岳~西沢溪谷

実施日 10月18日(日)~20日(火) 係 齋藤郁夫 記録 谷田部松枝

報告 3日間、雲ひとつない快晴 富士山・南アルプス・八ヶ岳・両神山と360度の展望と紅葉を楽しみました。

10/18 大弛峠までタクシーで入り小屋にザックを置き金峰山を往復。
五丈岩の大きさに圧倒され、岩に取り付く若い人たちを応援。夜は薪ストーブ
で体を暖め、満天の星、天の川、カシオペア座、流れ星に心をうばわれる。

10/19 いよいよ縦走開始、早朝の出発は身が引き締まる。途中分岐でザックをデポし
奥秩父の最高峰北奥千丈岳へ。富士山 金峰山 南アルプスと絶景。国師ヶ岳へ。
富士山を真正面に見据え日本画のよう。天狗尾根の分岐を過ぎアップダウンを
幾度も繰り返して甲武信ヶ岳山頂に。風は強いがやはり展望抜群。
甲武信小屋は快適で泊り客と小屋番の方々と飲み会がありアットホームな雰囲気。

10/20 戸渡尾根から徳ちゃん新道を下り西沢山荘横に下山。途中の紅葉はすばらしく、
しばしば写真休憩。

コース 10/18 塩山駅 9:00・・・大弛峠 10:40・・・朝日峠 11:10・・・朝日岳 11:50・・・金峰山 13:00
・・・大弛小屋 15:55
タイム 10/19 大弛小屋 6:50・・・北奥千丈岳 8:00・・・国師ヶ岳 8:15・・・甲武信ヶ岳 15:30
甲武信小屋 15:50
10/20 甲武信小屋 6:35・・・西沢山荘 10:50・・・バス停 11:20・・・甲府駅 12:33 帰路

参加者 3名

第1734回報告 足柄史跡ウォーキング

実施日 10月22日(木) 晴

係・記録 谷真理子

報告 小春日和の一日を、3名にて紅葉を探しに足柄峠へ入る。一部紅葉して
いるのを見付けると足止めし、しばしみとれる。花の名前を同行のKさん
に尋ねるが、3歩歩くとすぐ忘れてしまうが、これはご愛嬌とする。
大沢林道は廃道に近く、車も通らず、風のみが通る林道である。下りきり、
駿河小山駅へと抜けた後解散とした。

コース 足柄駅 8:45・・・林道戦返り線・・・富士見平・・・足柄の関跡・・・足柄聖天堂
・・・足柄城址・・・六地藏・・・誓いの丘・・・石尊佛/石尊松・・・富士見ライン
・・・大沢林道・・・遊女の滝・・・駿河小山駅 16:30

タイム

参加者 3名

第1735回報告 茅ヶ岳

実施日 10月24日(土) 曇り

係 小澤勝太郎 記録 小笠原利満

報告 茅ヶ岳登山口より歩き始め女岩で冷たい水を補給し、岩が出始めた道を頂上目指
して歩く。紅葉には多少早かったと言う感じで丁度お昼に登頂。曇ってはいた
が想像通り富士山を始め南アルプス、八ヶ岳等々素晴らしい景観でした。下山は
道を変えて15時には到着。気の置けない仲間とのとても楽しい一日でした。

コース 韮崎駅 8:45⇒バス⇒茅ヶ岳登山口 9:20・・・深田公園 9:30・・・女岩 10:42・・・深田久弥
タイム 終焉の地 11:40・・・12:20 茅ヶ岳 12:4・・・尾根ルート・・・茅ヶ岳登山口 15:00⇒バス⇒
韮崎駅 15:30

参加者 6名

第1736回報告

愛鷹連峰/越前岳ヶ岳

実施日 10月28日(水)曇り

係・記録 竹尾亮三

報告 御殿場駅で見た美しい富士山も登山口をスタートする時は雲の中。馬ノ背から見る富士の裾野、紅葉した森、ゴルフ場の景色は心を和やかにしてくれる。中年男女のパーティの追い越しを許し、山頂に到着。雲の上に真っ白い富士山が登山者を喜ばせてくれる。駿河湾、見下ろす斜面の紅葉も美しい。追い越し先行したパーティが我々の昼食の為にベンチを譲ってくれる。下山は赤、黄、茶の落葉の山道を下る。富士見峠の愛鷹山荘は無人で、避難小屋として開放しているのを知りKさんは大喜び。予定より早くバス停に到着したので、観音堂バス停まで歩く。御殿場の駅前の店で、快適に歩いたコースに乾杯。

コース 御殿場駅 8:35⇒バス⇒十里木 9:22・・・9:30越前岳登山口 9:35・・・10:20馬ノ背 10:30
タイム ...11:45越前岳 12:30・・・12:45富士見台 12:55・・・富士見峠 14:05・・・14:40分岐
(山神社) 15:40・・・15:55愛鷹山登山口バス停・・・16:15観音堂バス停～16:50⇒
御殿場駅 17:15

参加者 3名



越前岳山頂より富士山



越前岳山頂より

第1738回報告

菰釣山～哇ヶ丸～西丹沢

実施日 11月4日(水)～5日(木)

係 齋藤郁夫 記録 柿沢泰子

報告 11/4 快晴風強し

山伏峠に着くと木枯し1号の影響で、冷たい風が身にしみる。登る前には上着を脱ぐのが通例だが、今日はそのまま歩きだす。東海自然歩道なので歩きやすい道をいくつものコブを越えながら双耳峰の菰釣山に到着。避難小屋は6～7人が寝られる程のこじんまりした

きれいな小屋でした。このあたりから富士山がスツキリと顔を出す。
城ヶ尾峠で一旦下山し山荘水の元へ宿泊。

11/5 薄曇りのち晴

城ヶ尾峠まで登り返し、一路畦ヶ丸をめざす。昨日より大分暖かい。尾根道の木々は茶色や葉を落としたものが多かったが、1000米を切るあたりは紅葉まっさかりで、リュウノウギクやシャジンに見送られながらの楽しい山行でした。

コース 11/4 駿河小山 7:42＝タクシー＝山伏峠 8:27...10:41 縦の木沢の頭 10:45...11:02
タイム 涸沢の頭 11:07...12:05 菰釣山 12:15...14:34 城ヶ尾山 14:45...城ヶ尾峠 14:53...
16:30 山荘水の元
11/5 山荘水の元 7:05...7:55 登山口 8:10...8:45 城ヶ尾峠 9:00...モロクボ沢の頭
10:49...11:23 畦ヶ丸 12:00...善六のタワ 12:57...15:00 西丹沢自然教室
15:40＝タクシー＝16:06 谷峨駅 16:31

参加者 5名

第1739回報告 金剛山～鉢岡山～宝山

実施日 11月5日(木) 係・記録 谷 眞理子

報告 JR藤野駅より、20分程で登山口の金剛神社にたどりつく。直登の斜面を駆け登り、ひと汗かき頂上に立つ。後は予定通りのルートを歩くが、寄り道をし、峰山の先の八坂山まで足を延ばす。景色を楽しみ、秋の気配も深まりつつある紅葉をめでながら、日連集落へ抜ける。単独下見山行で顔なじみになってしまった農家に立ち寄り、「山いも」をそれぞれ買い求め、駅にて解散した。

コース 駅 9:30...日連大橋 9:35...金剛山神社(登山口)9:50～10:00...金剛山 10:50～11:00
タイム ...峰山 11:10～11:20...和田峠 11:30...鉢岡山 12:00～12:45...藤野駅分岐 13:35...
日連山 14:05～14:10...宝山 14:15～14:25...車道 14:50...藤野駅 15:45

参加者 8名

第1740回報告 網代城山

実施日 11月4日(水)～5日(木) 係・記録 春日井孝行

報告 ・冬至のこの日、天気もよく気温は高目で「これで冬？」という、「ぼかぼかハイキング日和」だった。弁天山からの下界の眺め、小峰公園からの大岳山の眺めと下山地・五日市駅辺りの眺めよし。
・見所満載のコースで参加者全員喜んでくれ、係冥利に尽きました。
(弁天山には貴志嶋神社、弁天洞窟あり。小峰公園にはビジターセンター、八坂神社あり。阿伎留神社には大小・新旧合わせて8台ものお神輿あり。
見所の目玉は、岩に穿たれた穴を潜って見に行く金剛ノ滝、
そして、2本のダイチョウのある古刹・広徳寺の静謐世界の味わい)

コース 武蔵増戸駅 9:45...弁天山 10:45/11:00...網代城山...小峰公園
タイム 11:55/12:30...金剛ノ滝 13:40...広徳寺 14:20...阿伎留神社...武蔵五日市駅 15:45

参加者 7名

第 1741 回報告 網浦賀の渡しと防衛大学校際

実施日 11月8日(日) 係 祖父川清治 記録 渡部道明

報告 京急浦賀駅を初秋の様な暖かい日差しのなか浦賀ドックの外構を左に見ながら精緻な彫刻が素晴らしい西叶神社にまず参詣する。往時の盛況を感じさせる街並みを案内立札を読みながら西浦賀みなと緑地へと歩く。浦賀港引揚記念の碑、陸軍栈橋など戦後の困苦を偲びながら「浦賀の渡し」を渡船で湾を横断東叶神社へ。蘇鉄の赤く熟した実など見てると6機の自衛隊機が爆音を轟かせ幾度か上空を舞う。年一度公開する「防衛大学開校祭」を祝うファンファーレか？ 午後日本最初の近代式灯台である観音崎灯台を見学する。

明治2年1月1日初点灯の由。防衛大学開校記念日のメインイベントである棒倒しは14:30開始。グラウンド周囲は入り込む隙間もない人・人の壁。若い防大生死力を尽くしての熱闘に歓声しきりであった。

私防衛大学は初めてなので資料館、総合体育館での学生各部同好会の展示、理工学館各研究室公開展示等を駆け足で拝見した。軍事教練を除き各学科の研究内容や講義等は見聞きした限り一般大学と同様と感じられた。

この度のウォーキングは内容の豊富さとポイントポイントで係の適切な説明ありで企画されたリーダーに感謝の一日であった。

コース 浦賀駅 10:05...10:30 西叶神社...10:40 西浦賀みなと緑地...11:00 浦賀の渡し
タイム ...11:10 東叶神社...12:40 観音崎...14:20 防衛大学(各自自由見学)16:30 終了

参加者 11名

第 1742 回報告 笹子雁ヶ腹摺山

実施日 11月15日(日) 晴れ 係・記録 和智邦久

報告 タクシーで笹子峠まで行く。暖かい日差しの中、落ち葉の絨毯の山道を、周りの木々の葉はすべて落ち、遠くの山々は紅葉が鮮やかで富士山を見ながらの登山である。笹子雁ヶ腹摺山からは展望のすばらしさに急登の疲れも忘れしまった。アップダウンの尾根をたどり米沢山へ。ここで昼食。風がやや強くなったが、展望はすばらしい。お坊山から大鹿峠に下り、ここから景德院への道へ。途中の紅葉は真っ盛り。景德院でお参りしバスで甲斐大和駅へ。

コース 甲斐大和駅 8:50=タクシー=9:05 笹子峠 9:13...10:28 笹子雁ヶ腹摺山 10:40...11:55 米沢山
タイム 12:40...13:30 お坊山 13:45...14:20 大鹿峠 14:30...15:40 景德院...15:50 景德院バス停
==甲斐大和駅

参加者 11名

第1743回報告

鎌倉宮～杉本寺

実施日 11月19日(木)雨 係 谷 真理子 記録 金本 勲

報告 天気予報は曇り後雨でしたが、鎌倉駅出発の時間になるとぽつぽつと雨が降り出し気温も真冬の寒さであった。小町通りを歩き、鶴岡八幡宮で防寒衣の上に雨具を着けて、獅子舞谷コースはあきらめて鎌倉の街を散策する事にした。鎌倉の紅葉はまだ早く11月下旬～12月上旬が見頃です。途中、鎌倉宮、護良親王墓の石段に立寄り、杉本寺で皆様の健康と安全登山を祈願して、境内で解散。

コース 鎌倉駅 9:35...9:50 鶴岡八幡宮 9:55...10:25 鎌倉宮 10:30...10:40 護良親王墓
タイム の石段下 10:43...11:00 杉本寺 11:15 解散

参加者 11名

第1744回報告

秩父 ユガテ～鎌北湖

実施日 11月21日(土)快晴 係・記録 竹尾亮三

報告 0分で福德寺に到着。新に古道飛脚道が整備されたとの案内に従って、ユガテへの山道を登り始める。ユガテに着くと、ユガテの名前の由来が3説記載されている。どれも？である。300年続く2件の民家がある穏やかな里山の景色に癒される。ゆずがたくさん実り、民家の人が、ゆずの皮実をナイフで切ってお馳走してくれ、枝が付いた小さなみかんまでくれる。峠を下り、鎌北湖に着くと紅葉が水面に、美しく映っている。水面に向かって一列に並び、陽だまりの中、ゆっくりと昼食をとる。釣り人達のがのんびりとヘラブナ釣を楽しんでいる。五常の滝に寄り、心地よい里山と乙女湖山行を終える。



コース 東吾野駅 9:20...福德寺 9:30...ユガテ 10:45～11:00...鎌北湖 12:05～13:15
タイム 北向地藏 13:50～14:00...五常の滝...14:25...武蔵横手駅 15:00～15:20

参加者 9名

第 1745 回報告

四方津御前山～御春山

実施日 11月21日(土)晴

係・記録 春日井孝行

報告 ・天気予報を検討し、予定期日から1日前倒しした。お陰で、絶好の登山日和に。だが参加メンバー6名減となったのは残念なことだった。
・駅からハイキング（駅から駅までハイク）1級品コースを改めて実感した。腕力も必要な難所・西御前からの下り、寺山（綱之上御前山）山頂間近の登りも楽しむ。また、ちょっとした藪コギも偶には良し。白い富士の頭、整然と並んだ「コモアしおつ」住宅街、大野貯水池、黄葉のきれいな山の彼方に来し方・四方津御前の眺めと次々楽しめた。

コース 四方津駅 9:00…四方津御前山 9:50/10:05…西御前 10:20…
タイム 「コモアしおつ」石の公園 10:40/10:45…駅・貯水池分岐
11:20…大野貯水池東屋 11:50/12:20…御春山 12:45…寺山
(綱之上御前山) 14:10/14:15…梁川駅 14:40 (含む休憩 5時間40分)

参加者 7名

第 1746 回報告 鉄砲木の頭～水の木林道～丹沢湖

実施日 11月26日(木)晴

係 齋藤郁夫 記録 今泉美代子

報告 霧の山中湖パノラマ駐車場より一気に鉄砲木の頭まで登る。あいにく富士山や南アルプスの大展望は望めませんでしたが、一匹の白い猫が我々と一緒に登って来て落ち葉に塗れながら楽しませてくれた。やがて霧も上がり思いの外紅葉も残っていて雲間からの陽にこの秋最後の装いを見せてくれた。
途中の大棚の滝・夕滝と見ごたえのある滝を觀賞し、静かな晩秋の山歩きでした。

コース 駿河小山駅 7:11 = タクシー = 山中湖パノラマ駐車場 7:45…・鉄砲木の頭 8:20
タイム …切通峠 9:20…大棚の滝 11:50…・水の木橋…・浅瀬…・丹沢湖 14:00 = タクシ
= 谷峨駅 14:50

参加者 4名

第 1747 回報告 鉄街道を歩く (中山道その12)

実施日 11月28日(土)～29日(日)

係 芹沢隆久 記録 和智邦久

報告 11月28日(土)晴れ 下諏訪宿—洗馬宿(せば) (18.2km)
下諏訪駅より出発。1日目は洗馬宿まで。

魁塚(赤報隊供養塔)を過ぎ、諏訪大社春宮の奥に万治(まんじ)の石仏(西暦1660年)を見るため寄り道をする。周囲を田んぼに囲まれ、砥川の扇状地の一角にあった。東堀の一里塚を通過し、大橋の下の河

原で昼食、風がやや冷たい。

茶屋本陣跡を過ぎ岡谷 IC を下に見ながら塩尻峠の登りを喘ぎながら歩く。峠には明治天皇塩尻峠御野立碑が。天文 17 年 (1548) 武田信玄と小笠原長時の塩尻峠の合戦が行われ小笠原方が敗れ、戦死者は双方千余人のぼった。

この地は太平洋側の表塩と日本海の裏塩の接点、塩の終着地 (尻) から塩尻の地名となった。ここから下りとなり、東山の一里塚跡を過ぎ、高ボッチスカイラインの入口を過ぎ、だらだら下って行く。犬飼の清水を過ぎ国道ぞいを歩きすこし行くと右の旧中山道に入る。長井坂の下り牛馬守護の石塔を過ぎると国道にぶつかる。地下道を通りそのまま直進する。柿沢橋跨道橋 (長野自動車道) を渡り、首塚洞塚を過ぎ永福寺による。柿沢一里塚跡を過ぎ、塩尻宿に入る本陣跡、脇本陣跡、大門神社、塩尻駅を過ぎ、平出の一里塚、途中ぶどう棚に残っていたぶどうを休憩しながら皆んなで食べたがすごく甘くておいしかった。信号一里塚跡で国道 19 号線に出て洗馬宿に入る。太田 (あふた) の清水 (木曾義仲とその家臣今井四郎兼平がここで会い、兼平が義仲の乗馬を洗ってやったという) を過ぎ、今日はこの宿の民宿千倉で泊まる。

(日本橋から洗馬宿までの距離 225.3 km)

11 月 29 日 (日) 曇りのち晴れ 洗馬宿——贅川宿 (にえがわ (6.5km))

民宿より洗馬宿にもどり出発。すぐに牧野一里塚跡を過ぎる。本山宿に入るが宿場の面影がわずかに残る程度で本陣跡、脇本陣跡は残っていなかった。日出塩の一里塚跡を過ぎると国道にぶつかる。30 分ぐらい国道を歩く。「是より南木曾路」の碑が。いよいよ木曾路に入った。2, 3 分行っ所で道路を横切り山道に入る。10 分ぐらいでまた国道におりる。茶屋本陣跡、若神子の一里塚跡で右に入りのだかな若神子村を過ぎてまた国道沿いを歩くと今回の終着贅川駅のに到着。

今回は塩尻峠越えが大変だったが暖たかったので楽しい街道あるきだった。(日本橋から贅川宿までの距離 236.2 km)

コース 11/28 下諏訪駅 10:10…万治の石仏…東堀一里塚跡 11:31…11:40
タイム 大橋 (昼食) 12:07…石船観音 12:37…13:04 塩尻峠 13:15…
東山一里塚跡…永福寺 14:22…塩尻本陣跡 14:40…平出一里塚跡
15:33…太田の清水…洗馬宿 16:34…民宿千倉 16:46
11/29 洗馬宿 8:01…8:04 牧野一里塚跡…本山宿 (下木戸跡) 8:30
…本山宿 8:41…是より南木曾の碑 9:40…若神子一里塚跡
10:19…贅川駅 11:08

参加者 15 名

第 1750 回報告

百蔵山 (1103 m) ～大同山 (907 m)

実施日 12 月 7 日 (月) 快晴 係 谷 真理子 記録 古屋喜代子

報告 上天气に恵まれ、朝のすがすがしい空気を味わいながら霜の降りた道を登る。お不動様で山行の安全を祈願。何箇所かで大きな木が根こそぎ倒れていた。途中から赤松の林越しに富士の白い姿と道連れに。

百蔵山頂は比較的広い。南面に横一列に腰を下ろして雄大な富士山を眺めながらの昼食は格別だった。宮谷分岐からは柔らかな日ざしの中、足首まで乾いた落ち葉に埋もれながら下るといってもぜいたくな経験をして大満足。今日のコースはやや急な登り、緩やかな尾根道、平らな巻き道にやや急な下りなどバラエティ豊かでとても楽しかった。宮谷川沿いに下り、宮谷新道を通して山行の締めくくりに猿橋を渡り終えたところで解散した。

コース 猿橋駅＝タクシー＝福泉寺林道入口 9:25・・・不動社 10:25・・・大同山
タイム 11:15・・・百蔵山 11:45～12:40・・・コタラ山 13:08・・・宮谷分岐 13:30
・・・水場 14:00・・・猿橋 14:45

参加者 11名

第1751回報告 忘年山行（石仏の道から岩戸山）

実施日 12月12日(土)～13日(日)晴

係・記録 芹沢

報告(12日)

未明まで残った雨もあがり、一周すれば寿命が1年延びるといふ来宮神社の樹齢2千年といわれる大楠を参拝する。来宮の坂の旅館街を抜け、上り坂の石仏の道をたどるも、いよいよ土の登山道に入るところが何とロープを張って通行禁止。猪のワナを仕掛けたためだと。こちらの情報不足も大いに反省だが、何の迂回路の表示もなく、熱海市当局のハイカー軽視の姿勢に大いに憤慨。仕方なく舗装道路を上へ上へとたどる。西熱海ゴルフ場を右に見て、いい加減不安になったころ、作業所の前で何人かが地図を広げ、現在地を確認、作業所の人にも確認してコースも一致。横浜支部は頼もしい限りだ。姫の沢公園の一角からようやく石仏コースに合流。登るほどに伊豆の島々が初島は勿論、大島、利島、もう一つは新島だろうかはっきり見える。足元には暖かい日差しの中に、マツムシソウが咲いていたのには一同驚き、かつ歓声。稜線の35丁目に荷物を置いて岩戸山を往復、頂上は満員、記念撮影して早々と下る。途中見えた富士は真っ白だった。伊豆の山や大島を見ながらの昼食。湯河原への下山路は北側のため、乾きが遅く、慎重に下る。宿には予定より早めに着いた。夕食は直行された2人も合流し、飲んで、歌って、踊って最後は森繁久弥氏を偲び「知床旅情」を全員で合唱し締めくくった。

(13日) 朝食後解散 各自お好みコースに出発して行った。

コース 12日 来宮 8:35…来宮神社 8:40～55…石仏の道山道入口 9:25～30…西熱海
タイム ゴルフ場 10:10～20…姫の沢公園東屋 10:55～11:05…35丁目石仏 11:30…
岩戸山 11:50～12:00…35丁目石仏 12:15～13:00…林道 13:40～45…登山口 14:05
理想郷・湯の里杉菜 15:00(泊)
13日 朝食後解散

参加者 23名

第1752回報告

農村公園～富士見塚

実施日 12月18日(金) 晴

係・記録 谷 真理子

報告 当日は5名の女性のみで上大井駅に着くなり、歩いて5分の石井醸造へと足を向ける。日本酒、梅酒、それぞれ買い求め、リュックを重くし、家に帰っての楽しみを増やし、ハイキングへと向かう。

晴天の中、大井農村公園で、白いドレスをまとった富士山を眺めながら昼食をとり、コース通りのルートにて、途中、カラスウリ等の収穫をしつつ新松田へと抜ける。

コース 上大井駅…石井醸造…農村公園…篠窪バス停…富士見塚…神山バス停…新松田
タイム

参加者 5名

第1753回報告

(おでん山行) 秦野戸川公園

実施日 12月19日(金) 晴

係・記録 岡野 達

報告 みくるべでバスを降り、四十八瀬川の右岸を上流へ歩いて行った。雲ひとつ無い青空であった。二ノ塔、三ノ塔、花立山荘が右手上方に見えていた。振り返って遠くを見ると日の光を反射した相模湾が白く見えていた。県民の森駐車場から山道を下り、四十八瀬川を木の橋で渡り、黒竜の滝を見学し、再び上って西山林道へ出た。1時間余り歩いて大倉バス停に到着した。水無川畔の木の階段状のデッキの上でおでんを始めた。おでんの他におしるこ、やきとり、メザシ等も食べ、満腹になった頃ハーモニカ楽団の伴奏で歌を唄った。今年のおでん山行も楽しかった。

コース 渋沢駅8:05＝バス＝8:20みくるべ8:30…9:30 県民の森駐車場9:38…9:48
タイム 黒竜の滝9:55…西山林道…大倉11:00…11:30 デッキ14:00 (解散)

参加者 17名

第1755回報告

雨山峠～伊勢沢ノ頭 (1177 m) ～秦野峠

実施日 12月23日(水・祝) 快晴

係 齋藤郁夫 記録 石井純一

報告 新松田駅よりタクシーで寄大橋へ。冬枯れの景色の中に十月桜の淡い小さな花。「21.10.20 乗越沢出合・雨山峠間に熊出没」の掲示。寄コシバ沢周辺から雨山峠まで、紛らわしい赤布もあり、コースを外れないよう要注意。雨山峠からは、冬枯れの木立越しに富士山、箱根、丹沢主稜、相模湾等の眺望を楽しみながらの尾根歩き。伊勢沢の頭から林道秦野峠まで急峻な下り。峠から舗装道路を寄バス停へ。好天にも恵

まれた充実の一日。

コース 新松田駅＝タクシー＝寄大橋 7:55・・・雨山峠 10:20～10:30・・・雨山 11:05～11:45
タイム ……檜岳 12:15～12:30・・・伊勢沢の頭 13:05・・・秦野峠 14:00～14:15
……林道秦野峠 14:45～14:55・・・寄大橋 15:55～16:05・・・寄バス停 16:40

参加者 11名



第1754回報告

滑川源流を歩く

実施日 12月20日(日) 晴れ

係 渡部道明

記録 石部正子

報告 本郷台駅集合、総勢14名でスタートする。歩くにはちょうど良い感じの寒さ、鎌倉にもこんな秘境らしい処が残っていたのに驚く。何回も近くは歩いていて知らないコース、源流に沿って沢コースに足をとられながらも全員尻もちもつず無事に下りてくる。足並みも揃いリーダーの予定どおりの時間にバス停に着きそれぞれの家路へと解散。

コース 本郷台駅 9:00---ふじやま公園 9:50~10:05---いっしんどう広場 11:35---
タイム 関谷奥見晴台 12:40~13:15 (昼食) ---六国峠 14:10---朝夷奈切り通し入口
15:10---朝比奈バス停 15:40

参加者 14名

第1756回報告

磯子七福神巡り

実施日 1月5日(火) 晴れ

係・記録 御園 培博

報告 14年前の平成8年に係として担当した磯子七福神巡りを再度実施した。夜半に降った雨も上がり青空のもと、根岸駅を出発し、会報に記載した順路を変更し、宝積寺から弘誓院・宝生寺を経て、コース途中の国指定史跡三殿台遺跡に寄った。縄文・弥生・古墳の三時代にわたる遠い先祖の生き方に思いを馳せる一時であった。その後、金剛院を経て岡村公園の一角で昼食のあと岡村天神(天満宮)に詣でる。

次に、市電保存館(昭和47年3月に廃止になった市内電車の車両などを展示)

を見学した。続いて、密蔵院・真照寺を詣でる。真照寺では事前の申し込みどおり本堂に参内し、市指定文化財の等身大木彫り毘沙門天を拝観することが出来た。最後は金蔵院で、弁天堂は妙義神社の弁天堂を移築したとのことで、見応えのある建物である。16時45分JR磯子駅で無事解散した。

コースタイム 省略

参加者 19名

第1757回報告

大江戸の富士山めぐり

実施日 1月7日(木) 晴れ

係 祖父川 記録 茂木 武

報告

- 1 十条富士 東十条駅から西方へ。登山道は陰しく作られ山頂、下山道、お中道と中々凝っていた。掲示板に見る富士登山の2人の講中絵姿で、当時の旅装を偲ぶ。
- 2 駒込富士 駒込駅で下車。不忍通りと本郷通り交差点東南にある。山頂には木花咲耶姫を祭神とする富士神社がある。大きなタブの木が目立った。
- 3 音羽富士 バスを護国寺前で下車。護国寺は徳川綱吉の生母が、天和元年に建立。富士塚は護国寺境内に。富士山形でなく斜面を富士に見立てている。

- 4 豊島長崎富士 千川駅下車。富士塚はま金網の塀の中。立入禁止で残念だった。
- 5 成子富士 西新宿駅で下車。富士塚は成子天神社の境内。天神山を改造、溶岩の険しい登山路で高度感もある。道々には七体の七福神が出迎えてくれた。
- 6 千駄ヶ谷富士 都営地下鉄で国立競技場。鳩森八幡神社に着く。鎮守の森に富士塚が有る。溶岩を敷き詰めた険しい登山路。クマザサも茂り、江戸人は念が入る。
- 7 品川富士 京急新馬場駅下車。富士塚は品川神社石段の途中に。険しい登山路こ一合目、二合目と石柱が山頂まで続く。お中道巡りも楽しむ。後は品川神社に参拝。裏手の板垣退助の墓所も訪れ、京急新馬場駅で解散となる。

コース 東十条駅 9:05---十条富士 9:10~9:14---駒込駅 10:38---駒込富士 10:55 11:00
 タイム ==上富士---護国寺 11:22~12:05 (昼食) 音羽富士 12:08~12:10---護国寺---
 千川駅 12:30---豊島長崎富士 12:45~12:55---西新宿 13:40---成子富士 13:48~
 14:00---都庁舎 14:10~14:50---国立競技場 15:04---千駄ヶ谷富士 15:10 15:14---
 千駄ヶ谷駅==新馬場駅 15:57---品川富士 16:08~16:11---品川神社 16:14---
 板垣氏墓地 16:18---新馬場駅 16:30 解散

参加者 13名

第1758回報告

早川ウォーキング

実施日 1月8日(金) 晴れ

係・記録 谷 真理子

報告 快晴に恵まれ、6名にて早川駅より直登コースをとり、石垣山・一夜城へあえぎつつやっとたどり着く。城郭を見物し地球博物館へと行く。ここ数年の間に出来た新道を吊橋へと行き、ゆれすぎて目を回し、2つの寺をめぐる。国の史跡である玉石を敷きつめた旧街道255mをアヒル歩きで通過し、福寿院へ出、天成園で滝を楽しみ、温泉街を冷やかし、箱根湯本駅で15時丁度解散とした。

コース 駅…みかん畑直登コース…石垣山・一夜城…太閤橋…地球博物館…前田橋(吊り橋)
 タイム …早雲寺…正眼寺…福寿院…天成園(滝2つ)…箱根湯本駅

参加者 6名 [地図](#)

第1759回報告

八王子城山

実施日 1月10日(日) 晴

係・記録 春日井 孝行

- 報告 ・ 天気良く、富士見台からは初春を寿ぎ初富士を拝む。
・ 八王子神社、本丸跡、御主殿ノ滝、御主殿跡、城主・北条氏照ノ墓等々の歴史に触れる、一風変わった山歩きも楽しいものだった。
・ 一口ずつでしたが特製スープのお味は？。正月の縁起物「福亀ポストカード」、どうぞ皆さんに福が舞い込み、万年も長生き出来ますよう。

コース 霊園前 9:20…八王子城跡管理棟…八王子神社…本丸跡 10:40…富士見台（昼食）

タイム 12:30…御主殿ノ滝…御主殿跡 14:00…城主・北条氏照ノ墓…高尾駅 15:30
（含む休憩 6時間10分）

参加者 15名

[地図](#)



第1760回報告

石老山

実施日 1月16日（土）快晴

係・記録 竹尾亮三

報告 4班編成でスタートする。山道を登っていくと、説明板の付いた巨岩、奇岩が次々に現れ、顕鏡寺に到着する。寅歳の守り本尊の虚空蔵尊を祀っているお寺で、参加者の中に3人、3世代の寅年の方がいたのには嬉しい。山道に雪が現れて少しで山頂に到着。富士山こそ雲の中でしたが、真白い蛭ヶ岳など丹沢山の山々や道志の山々が美しい。無風で、陽を浴びての昼食をゆっくりととる。山頂からの下山道にも雪があるが、持参のアイゼンを付けずに慎重に下り、大明神展望台に到着。相模湖や陣場の山稜が迫る。雪の山道の緊張感も冬の里山の味わいを感じ、仲間と楽しんだ陽だまり山行でした。

コース 相模湖駅 9:20＝石老山入口 9:30～45―登山口 10:10―顕鏡寺 10:30～40―
タイム 融合展望台 11:10～20―石老山 11:55～12:45―大明神展望台 13:40～50―
箕石橋 14:30―ピクニックランド前バス停 14:50～55＝相模湖駅 15:10

参加者 23名

[地図](#)

第1761回報告

三浦アルプス

実施日 1月24日(日) 晴れ 係 谷真理子 記録 平川俊一

報告 新逗子駅よりバスで風早橋バス停へ向かう。数日前の暖かさがガラッと変わり寒いが雲ひとつない好天のもと仙元山登山口の葉山教会への急登を前に3班にグループ分けする。仙元山の頂からは真っ蒼な空の下、白銀に輝く富士山、湘南の海岸線、手前には江の島、相模湾には無数のヨット、山頂からの風景だけでも満足してしまう。本日一番の難所250段階段隅には可憐なスミレが数輪咲いてほっと一息つかせてくれる。小ピークの上で昼食の後、数回の休憩をはさみツバキ咲くアップダウンの大きい畠山への道を進む。畠山山頂には小さな観音像が祀られ誰が供えたか美味しそうなりんごが。横須賀港、東京湾の景色を堪能したのち十三峠経由塚山公園へ。天気に恵まれ楽しい一日でした。

コース 仙元山登山口 9:25---9:45 仙元山 9:55---10:20 250段階段上 10:25---
タイム 10:50 観音塚 10:55---11:50 葉山消防30番看板 12:25---途中休憩10分
---13:30 乳頭山肩分岐 13:35---14:25 畠山 14:40---15:15 十三---15:25
塚山公園(解散)

参加者 19名 [地図](#)

第1763回報告

高塚山～千倉お花畑

実施日 2月6日(土) 曇りのち快晴 係・記録 竹尾亮三

報告 高塚不動尊大聖院で安全祈願をし、階段状の急登を登る。富士登山記念碑を通過し、鳥居と苔むした階段が現れる。慎重に登ると奥の院の有る山頂である。山門の両脇には風神雷神の石像が、不動堂の前には子犬を背負った一対の狛犬がある。

海辺の家並みと太平洋と見下ろし、落ち葉の山道を下ると大きな溜池が現れる。スミレが咲いている陽だまりの中、昼食をとり海岸に向かう。海岸線沿いに歩き、道路を挟んでお花畑が広がる道の駅に到着。鋏を借りて畑に入り、お好みの花、お好みの色を選んで花摘みを楽しむ。再びお花畑を見ながら、バス停に向かう。冬に彩の山行を楽しめました。

コース 久里浜港 8:15=金谷港--浜金谷=千倉駅 10:25=七浦小学校 10:50--高塚山

タイム 11:30~11:45--溜池 12:05~12:50--平磯漁港 10:05--道の駅ちくら 13:25~
14:30--七浦バス停 14:50~15:10=千倉駅 15:30=浜金谷=久里浜港 18:00

参加者 17名 [地図](#)

第1764回報告

鎌倉切り通しウォーキング

実施日 2月14日(日) 曇り 係 石井純 記録 佐藤哲夫

報告 鎌倉駅より8:30のバスにて 第二の集合地十二社神社へ 金沢文庫よりのバス
を待つて合流し合計32名が8-9名毎に 四班を編成して出発 昨夜来の雨にて濡れた
山道・市道を長く連なって 短い登り降り繰り返し 約20KMの距離を完歩し江ノ電
長谷駅にて 4:00解散

コース 鎌倉駅 8:30=バス=十二社神社 9:05---9:20 朝比奈切通し 9:25---熊野神社
タイム 9:30---鎌倉市界の尾根道---10:55 久木大池 11:00---11:05 鎌倉逗子ハイランド
11:30---名越切通し 11:45---釈迦堂切通し 12:25---12:50 鶴岡八幡宮 13:20---
亀ヶ谷坂 13:45---化粧坂 14:05---14:10 源氏山 14:20---大仏ハイキングコース
大仏切通し 15:15---極楽寺 15:40---極楽寺坂 15:45---江ノ電長谷駅 16:00

参加者 34名

第1766回報告

伊東 ・ 大平山

実施日 2月23日(火)

報告 当日は快晴にて気温も上昇し、梅も満開のなか微風が吹き、伊豆の里
山に登る4人の頬を撫でていく。目当ての富士山もかすみがかかりぼん
やりしていた。馬場の平で伊豆の景色を眺めながら、ついでに胃袋へも
義理をはたす。再び尾根に乗り、道標もない迷いやすいルート上に、
1人きりの参加男性の好意により、赤い布切れを2ヶ所取り付けてもらい、
今後通過する人々が安心して歩けるようにしてもらった。伊東駅まで40
分の道のりをひたすら歩き、駅前の穴場の寿司屋で打ち上げ後、それぞ
れ帰路へつく。

コース 伊東駅---丸山公園 10:20---登山口 10:45---山頂 11:55---533 P 13:00---柏峠
タイム 13:45---馬場の平 14:05---尾根コース 14:40---三叉路 15:16---伊東駅 16:0

参加者 4名 [地図](#)

第1767回報告

丹沢山

実施日 2月20日(土)～21日(日) 係・記録 春日井 孝行

報告 2日とも天気は晴のち曇で、まあまあ良し。
大倉尾根は、登りはアイゼン着けず。下りは花立まで着けた。
山荘は宿泊者62名と多い方だったが、我々は4人用の個室で快適。
夕焼け空に浮かぶ富士山、夜空にもシルエット富士が、街の灯の夜景、
ご来光、早朝の好展望と山頂泊の楽しみ満喫。
塔～丹沢山間の初級雪道歩きを十分楽しんだ。枝に降り積んだ雪、
歯ブラシ霧氷のトンネル・樹林帯の美しさに歓喜する。

コース 2/20(土) : 大倉8:20---塔ヶ岳13:50(尊仏山荘泊)
タイム 2/21(日) : 塔ヶ岳7:00---8:35丹沢山8:45---10:00塔ヶ岳0:45
---大倉14:00

参加者 4名 [地図](#)

第1768回報告 スキー・スノーシュー草津国際スキー場

実施日 2月21日(日)～23日(水) 係 竹尾亮三
記録 齊藤郁夫 小澤勝太郎

報告 21日「スキー組7名」：スキーを借り、宿のマイクロバスで天狗山スキー場へ。
シニア割引リフト券でゲレンデへ。久しぶりのスキーに緊張しながら滑走開始。
快晴の中、リフト・ロープウェイを乗り継ぎ、最高点の展望台まで行き、360度の展望
を楽しみ、振子沢の急坂も「尻制動」などで切り抜ける人もいて、16時半の宿の迎いの
バスまで楽しむ。夕食後部屋でのアフタースキーも又楽しからずやであった。
「スノーシュー組8名」：トレッキング2時間コースに参加、森や溪流を歩く。快晴の中、

顔に当たる冷たい風が気持ちよい。積雪1mであるがスノーシューを付けると沈まず、
スリップもなく雪上を快適に歩く。将軍に氷を献上したという氷室、熊が樹上で食事する
為にできた熊棚を観察した。びっくりは日本カモシカが30m位の所から、じーと我々の行
動を注視していた事でした。真白な森の中で童心に帰れた楽しいひと時でした。

22日「スキー組6名」：今日はSNSのメンバーと入れ替りもあり、2名が午前中はス
クールへ。平日の特権でゲレンデも食堂もガラ空き状態。午後からは日も差してきたの
で殺生河原ヘリフトで上がり斜面を楽しみ、休憩後は一部の方達と昨日の展望台へ。
下りは振子沢をノンストップで殺生河原へ。更に最後の滑降を天狗山下部までの8キロ
の大滑降を満喫。16時半のバスで宿に戻り温泉・夕食・カラオケと大満足の一日が終
わった。

「スノーシュー組9名」青空いっぱいの中、山頂駅から歩き始める。ガイドさんの計らい
で湯釜展望台をパスし、白根山山頂まで登る。北アルプスの山並が美しい。下山途中で通
常の湯釜展望台よりさらに湯釜に近づく。薄緑色をしている。風紋がついた雪上を降り
閉鎖のレストハウス前で、ガイドさんからの熱い紅茶とお菓子で一服、復路はコースを変

え樹木の中を歩く。山麓のレストハウスで遅い昼食。スキー組全員とも一緒になる。

23日 朝食後、思い思いに温泉市街地の中にある雪の湯畑などへ出かける。

15名の宿泊のおかげで、2日目の昼食（おにぎり）のサービスを受けたり、色々と楽しませてくれた激安おおるり雪山温泉山行でした。

コース [21日] 横浜駅西口 7:30=バス=ホテルニュー紅葉 11:40~12:40=天狗山
タイム スキー場 12:45 スキー組とスノーシュー組は別行動~16:30=ホテル
[22日] ホテル 9:10=天狗山スキー場 スキー組~16:30=ホテル
スノーシュー組 徒歩--ホテル 16:00
[23日] ホテル 9:15--湯畑など自由行動~12:30=横浜 17:00

参加者 15名

第1769回報告 葉山町（大峰山 142.8m）

実施日 2月25日（木） 快晴 係・記録 谷 真理子

報告 春一番の風が吹き、森戸神社より砂浜づたいに真名瀬登山口まで行く。508段と数えるが、参加者皆まちまちの結果がでる。広場でランチをしつつ世間話に花が咲く。つつじコースへ歩みを取り、旧役場バス停横へ抜け出る。皆一度は行っているしおさい公園を省略した。途中、御用邸前の位置に何と！公衆トイレを発見！その後近道を取り葉山公園に行く。再び波打ち際を目の前の長者ヶ崎まで歩く。風も強くなりバスにて逗子駅へと戻り、解散とした。

コース 2/20（土）：大倉 8:20---塔ヶ岳 13:50（尊仏山荘泊）

タイム 逗子駅=バス=森戸神社 10:30---真名瀬登山口 11:00---広場 11:15~12:30
---頂上 12:40---つつじコース---御用邸前信号 13:25---葉山公園 13:35---
長者ヶ崎 13:50=バス=逗子駅 14:30

参加者 4名 [地図](#)

第1772回報告 箱根外輪山周回歩道東

実施日 3月12日（金） 晴 係・記録 谷 真理子

報告 風の冷たい桃源台にバスより降り立ち、雪が残っている道路を登山口まで行く。

台 山道にへばり付いている雪を見ながら、メンバーの方々と相談の結果、展望

でランチを食べようということになった。4本爪装着し小気味よくサクサクと歩くが、一部吹きだまりの中へ足を入れてしまい身震いをする。箱根竹が妙に白い雪とマッチして絵画の世界を思わせてしまう。やがて展望台に到着し、ランチしつつ山々をみれば、白の世界になっており、本日は安全第一と考え、

大展望に見送られ？、引き返すこととした。

再び桃源台に戻りバス利用し箱根湯本駅へと出た。全員少々早い帰宅となった。

コース 箱根湯本駅 8:00＝バス＝桃源台 9:30…湖尻水門 9:45…登山口 9:50…芦ノ湖展望

タイム 公園 11:10～11:45…登山口 12:20…桃源台 12:50～13:00＝バス＝
箱根湯本駅 14:00

参加者 6名

第1774回報告

高麗 ・ 富士山

実施日 3月22日（月・祝）

係・記録 春日井孝行

報告 前々日、前日は全国的に風雨強し、当日は晴れて先ずはバンザイ！。
途中、真っ白な富士山の頭部を見る。高麗・富士山の隣の白銀平展望台からは、霞んだ日光・男体山、筑波山、丹沢・大山を確認す。
滝沢ノ滝、宿谷ノ滝、どちらも雨後で水量多く素晴らし。

コース 高麗川駅 9:25…高麗神社…滝沢ノ滝…白銀平展望台 12:00／12:45…高麗・富士山

タイム …宿谷ノ滝 14:00…毛呂駅 15:55

参加者 5名

第1775回報告

大野山～河村城址公園

実施日 3月23日（火）

係・記録 谷 真理子

報告 気温が少々低めの当日、谷峨駅に降り立ち身支度整え、ウォーキングの歩調にて登山口まで行き、ゆっくりと山頂へと登りつめる。春霞がかかり360度の景色がいまいちであった。誰とも会わず支部専用の山となる。下山後市間分岐まで来たが、市間へ抜ける道は残念なことに工事中に付ハイカーや車両は通行禁止になっていた。従来通りのハイキングコースにはミツバが群生しており目を楽しませてくれた。山北駅の近くまで来てから河村城址公園の話をしてみたと同意を得たので歩を進める。公園ではサクラが満開の木々があり花見となった。その後は山北駅へ抜け、駅にて解散し帰路につく。

コース 谷峨駅 9:50…嵐 10:15…野背開戸 10:35…大野山 11:50～12:40…イヌクビリ 12:45…

タイム 地蔵岩 13:30…市間分岐 13:35…古宿 14:15…樋口橋 14:50…河村城址公園入口 15:00…
頂上 15:15…山北駅 16:15

参加者 3名

実施日 3月7日(土)

係・記録 竹尾亮三

報告 途中、白鳥山を見あげ、本成寺に着くと桜の花が迎えてくれる。
民家の脇から登山道に入り、美しい竹林の中を登ると、きつい急登の石階段がある。わずかに桜の花が咲いている七面宮跡に到着。
ここから独立峰らしくロープの急登もありで山頂に到着。
今日は我々の専用となったテーブル付きベンチなどで昼食をとる。
大きくうねる雄大な富士川を見下ろす。

雲の中の富士山をバックに3人のハーモニカー合奏にあわせ、「ふじの山」を全員で歌う。帰りは同じコースを下山、野外店で地元の筍、ウド、新玉ねぎなどを購入し駅に向かう。

低山ながら花あり、音楽あり、旬の買物ありで、楽しい山行でした。

コース 芝川駅 9:23~45---本成寺 10:15~25---白鳥山七面宮跡 11:00~10---白鳥山

タイム 12:15~13:20---七面宮跡 14:05~25---本成寺 14:45~55---野外野菜店

15:15~15:45---芝川駅 15:55~16:32=富士=熱海頂上 15:15...山北駅 16:15

参加者 20名

[地図](#)